

## ◆寄附金の使いみち

### 人材育成に関する事業 (8,525,257円)

#### 蔦文也杯選抜野球大会等 (528,452円)

池田高校野球部元監督・故蔦文也さんの功績を顕彰する中学生を対象とした「第12回蔦文也杯選抜野球大会」や小学生を対象とした「蔦文也旗争奪大和チャレンジカップ」、また独立リーグ徳島インディゴソックスの選手による中学生を対象とした野球教室に活用し、次代に活躍する選手の育成を図りました。



姉妹都市交流事業 (3,641,805円) 中学生15名を中心に構成された三好市姉妹都市交流親善団18名による10月26日から11月1日までの7日間の姉妹都市アメリカ合衆国オレゴン州ザ・ダルズ市訪問事業に活用しました。両市が姉妹都市提携を結んで12年が経過し、また国際交流協会を中心とした民間レベルでの交流は30年以上続いています。団員は滞在期間中、ホームステイをすることで、アメリカの大自然や文化に身近に触れるとともに、多くの人々とのコミュニケーションを通じて、新たな友情が生まれる貴重な経験となりました。

#### 総合的な学習の時間補助—小学校 (1,663,400円)

市内14小学校の総合的な学習の時間への補助金として活用しました。山城小学校3年生は、地域の方をゲストティーチャーに招き山城町に伝わる狸話を教えていただいたり、狸伝説の地をフィールドワークしたりするなかで、狸伝説に込められた先人の願いや思いを学ぶことができました。児童は学んだことを紙芝居にまとめ幼稚園児に読み聞かせをしたり、学習発表会で地域の方たちに発信したりしました。これらの活動を通して、地域よさに気づくとともに、地域の一員として主体的に関わろうとする態度を育てることができました。



#### 総合的な学習の時間補助—中学校 (954,600円)



市内6中学校の総合的な学習の時間への補助金として活用しました。

写真は西祖谷中学校の職場体験学習「英語でおもてなし」の様子です。地元ホテルの協力を得て、宿泊客である外国人に対して英語で館内案内(食事、入浴について)を行いました。祖谷での滞在が観光客のよりよい思い出になるように笑顔で心をこめて、おもてなしをしました。

#### 駅伝ユニフォーム整備費 (1,737,000円)

第65回記念徳島駅伝大会において、三好市として初の入賞(7位)を果たしました。連続入賞及び三好市選手団の更なる活躍を目的とし、実行委員会に対する補助金として活用しました。第66回徳島駅伝大会においては、8位と順位を落としましたが、連続入賞を果たすことが出来ました。期間中は各中継所や沿道で、多くの市民の方が選手に声援を送っていただき、選手の力となりました。



## その他三好市発展のために市長が必要と認める事業 (4,558,720円)

### 三好市民文化祭実行委員会補助金 (1,300,000円)



市民の一体感の醸成と文化の向上を図り、地域の活性化に繋げることを目的とした三好市民文化祭を開催するため、実行委員会に対する補助金として活用しました。

協賛事業として市文化月間(10.11月)に市内で開催されるイベント(31事業)をポスター、リーフレット、CATVで宣伝広告し、主催事業として「ケロポンズ・ニコニココンサート」、「社会学者 古市憲寿氏講演会」を開催し、子どもからご高齢の方まで幅広く大勢の来場者で賑わいました。期間中、多くの市民が様々な文化活動に参加することができ、いきいきと人が輝く交流のまちづくりができました。

### 避難所用必需品購入費 (3,218,720円)

南海トラフ大地震や台風時の土砂災害時に備えて、三好市内には多数の避難所がありますが、そこでの生活に大変苦勞することが想定されています。

そのため、避難所での生活を少しでも快適に送ることができるよう、屋内用避難テント、床に敷いたりする保温マット、寝具としての毛布や長期保存ができる非常食などを購入しました。

また、それらを購入し保管するだけでなく、購入したテントの設営方法や、非常食の作り方などの訓練を行い避難時に対応できるようにしています。



### 地域婚活応援事業 (40,000円)

三好市内の結婚を希望される方に対して、結婚支援を行う「とくしまマリッジサポートセンター」が企画する「マリッサとくしまマッチング会員」の登録費用(半額)補助金として活用させていただきました。今後も素敵な出会いのサポートができるよう事業を進めていきます。